

# 不易流行

## 「成功は失敗の基 創造は成功の基」

「不易」と「流行」という二つのバランス、表裏一体の重要性についてお話を伺った。

「青経塾で伝え続けているものは同じ」と語る塾主。人に聞くもよし、学ぶもよし、しかしそこには自分自身で考え行動するということが根底に流れている。

### 不 易

「不易とは、大自然との調和をなくして語れない」と塾主。塾主自身も修業僧と同じく零下15度の厳寒の中に座り、「人間は自然の中に生かされている」と体感されたそうだ。「しかし人間は、儲かる、損するというところに走っている。地球(大自然)から見ると、実につまらないことをやっていると感じる。科学や技術の発達は勿論素晴らしいことであるが、目的がずれている」という。

子供の悲しい事件が多発する社会問題もその一つだ。「やインターネット、ゲームが流行している現在で「その中身は、お金儲けや自己中心的ものが多い。本来ならば、人の為、地球の為などに関する心豊かになるようなものでなければならない。やはり目的がずれているのだ。我々大人の責任であり学校や他人の責任ではない」。

「やインターネット、ゲームは活字だけ。それでは人格がわからない。「人間は相手と会い、顔を見ながら話すことによって理解し合う本来の姿が薄れている」と残念そうな塾主。

今の世の中は、人が生きる上で大切な物事を扱っている商売が儲からず、無駄に思われる物事を扱う商売が儲かっている。不易を忘れ流行ばかり追いかけけているのだ。「経営者は私欲や物欲ばかり考えてはならない。そして地球という原点からみれば、今の自分達だけの財産ではない。祖先の時代から受け継ぎ、子孫に申し送るという本質を見極めなければならない。そういう人間が育てば、行動が変わり、習慣が変わる。それが本当の教育だ」と塾主。会社にとっては不易である社是。「何の為に会社を営んでいるのか、何の為に生きているのか」と、その重要性に気付く。

### 流 行

「成功は失敗の基」と語る塾主。世の中が変わっても同じ手法をいつまでも使うところに失敗がある。成功は創

造でしかない。会社において、前年比を用いる。これは、踏襲であり失敗の基。流行も、習慣も変わっているのに前年と比較してどうするのだ。流行に素直について行くことなのだ。組織としてのリーダーも時代と流行に相応しい人になるべきなのだ。これは「人間主義」を大前提とした「事業の再構築」である。

### 不易流行

「流行の中にも不易がないといけない」と塾主。

二つのバランスが大切であり、表裏一体だと語られた。

“青経塾生として、経営者として、社会性、科学性、人間性の3つの柱はゆるぎない”と、伝播し続けてくださる。まさしく真の経営者であり、その姿は不易流行である。

### 挑 戦

流行と挑戦とは、大きく重なる。何も行動(挑戦)しなければ、チャンスは流れて行ってしまふのだ。「流行の湧き出る泉があるとしたならば、その湧き口を狙う。更には湧き口までの岩盤の中に隠れる水脈を予測することが流行を先取りすることだ」と教えて頂いた。

菊水化学工業株式会社は、現在建設中の中部新国際空港に不燃塗料、愛知万博会場に自然塗料を納入されている。同業他社が流行と感じ始める3年も前から何回も飛び込み営業で通いつめた。最初は門前払い。あきらめず“何を誰に売なのか”を明確に定められた。これこそ『挑戦』なのだ。「世の中(自然)の不利益になることはやらない」の塾主の強い信念の基に開発された地球に優しい塗料が認められたのである。

青経塾生だからこそ、塾主から受け継いだ魂を不易とし、いつの時代も地球の為、社会の為の流行の泉として存在するのだ。

チャンスは平等にある。常に触覚をはりめぐらし行動する。挑戦しなければチャンスはつかめない。地球に、社会に、存在価値を認められる会社(組織)にならなければと取材を通して感じた。

